



宿泊業

① 課題の確認・検討

●人材不足と人件費の高騰を受け、施設運営の省人化を検討

●コロナ禍を受けて、密な状況を回避する施設運営を検討

⇒スタッフ業務を分析し、適切なデジタルツールを活用することで、施設運営の効率化を狙う。

② デジタル等の活用

●宿泊客の来訪時間、部屋割り、夕食提供時間などの情報をスタッフがリアルタイムで共有できるシステムを導入

●食堂や大浴場の混雑状況を把握するために3Dセンサーを導入

●ロボットを活用し、清掃や施設点検を自動化

③ 業務形態・サービスの变革

●宿泊客の情報をリアルタイムで共有することでお客様に合わせたサービスを提供

●混雑状況を把握することで、密な状況を回避するサービスを提供

④ 効果・結果

●スタッフの最適配置によって、サービスの質が向上

●業務効率化により休暇取得を促進し、従業員満足度が向上

●これまで外注していた業務を、余力ができたスタッフが行うことでコスト削減

企業文化の变革

●業務の効率化・自動化により、スタッフが宿泊客へのおもてなしに注力できる環境へ